

◆夢を育み 明日が待たれる 魅力ある学校づくり◆

北教だより

茨城県県北教育事務所
令和7年9月3日(水)
第7号
電話 0294-34-0774
E-mail:hokukyo@pref.ibaraki.lg.jp

英語プレゼンテーションフォーラム県北地区大会を開催

8月6日(水)に日立市教育会館で英語プレゼンテーションフォーラム県北地区大会を開催しました。今年度は、管内4市の大会結果より推薦された15校が出場しました。このプレゼンテーションフォーラムは、各校の代表生徒(3~5名)が与えられたテーマに基づいてプレゼンテーションを行い、その後、リスナー側の学校の生徒と質疑応答を行い、その発表とやり取りのパフォーマンスを競うものです。

開会行事では、県北教育事務所長から参加生徒のみなさんに英語で、「みなさんが大人になったら、他の国から来た人々と、勉強したり働いたりすることは、とても一般的になるでしょう。英語を使えることは、世界でとても大きなパワーをもつことになります。ですから、みなさんは、英語でどのようなアイデアを共有したいのか、どのようなメッセージを伝えたいのか考えてみてください。今日は、ここで出会えた友達と話すことを楽しんで、そして、英語はおもしろいと感じてもらえたらと思います。そして将来、みなさんは、日本、茨城、さらには世界中を助けるために英語を使うことになるでしょう。期待しています。」というメッセージが送られました。

今年度のテーマ「茨城の魅力アッププロジェクト~こんな茨城にしたい、住みたい、なってほしい~」に基づき、各学校とも調べた内容や自分たちの考えを盛り込んだすばらしい発表を行っていました。また、発表内容に関する即興での質疑応答は、昨年度よりもテーマに沿った具体的で充実したものになっていました。各校とも、市内大会を終えてから県北大会出場までにさらに積み上げてきた努力が成果となって表れており、出場した生徒の皆さんの達成感にあふれた表情が印象的でした。

なお、県北教育事務所長賞を受賞した日立市立十王中学校、日立市立豊浦中学校、常陸太田市立里美中学校、茨城県立日立第一高等学校附属中学校の4校は、つくば国際会議場で開催された県大会(8/26)に出場し、県北地区の代表として、堂々とした態度で発表を行っていました。



発表者の様子



リスナーの様子

英語教育 AI 活用推進事業について

この事業では、県内10校のモデル校が英語学習において生成AIを活用した授業に取り組んでいます。生徒の「書くこと」における意欲や資質能力の向上のため、生成AIの効果的な活用による練習量の増加や動機付けの強化とともに、英語学習における生成AIの活用モデルを発信することで、英語の授業改善及び生徒の英語力向上を図ることを目的としています。

県北管内では、日立市立滑川中学校と北茨城市立中郷中学校の2校がモデル校となっています。各モデル校は、年3回研究授業を行います。各校での第1回校内研究授業では、生徒たちが生成AIを活用し、教科書の英文を読んで、○×問題のクイズを作成しながら内容理解を深めたり、自分の夢について英作文を書いたあとに、友達と互いに話し合ったりする活動を行いました。モデル校の生徒たちは、自分が作成した英文の添削に生成AIを活用したり、生成AIに質問されたことにさらに答えたりしていくことで、より適切な英文を作成することができました。また、授業の振り返りをAIとのやり取りをとおしてより具体的に行うことで、次時の課題を明確にすることができました。

なお、日立市立滑川中学校においては11月7日(金)の午後に公開授業を予定しています。詳細につきましては、後日、各市教委を通じて文書でお知らせいたします。



生成 AI からのフィードバックを受けて、適切な英語表現に修正し、さらに自分の書いた英文に理由を付けて詳しい内容にしようとしている場面